



Title	中国研究
Author(s)	
Citation	OUFCブックレット. 2018, 13, p. 76-91
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/71865
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

中国研究

創刊号（1970.4）～162号（1984.10），東京：日本中国友好協会中国研究委員会
69号（1976.1-2）～141号（1982.12）
大阪大学附属総合図書館（調査：和田英男，2018年5月）

69号（1976年1,2月）

「水滸伝」批判について（伊藤敬一）

「水滸批判」をめぐって（高島俊男）

「水滸批判」の初歩的検討 『週刊朝日』にのった“劇画”水滸伝を
めぐって（橋本堯）

【対談】社会主義と民主主義—スターリン，毛沢東を念頭において（柳
田謙十郎，重沢俊郎）

「平和と民主主義の新段階」はどこへいったか（姫田光義）

人民日報からみた中国：大寨会議を追って（松永義衛）

資料 人民解放軍各部，国防技術委員会，軍種・兵種人事
書評 王アンナ著「革命中国に嫁いで」

70号（1976年3月）

【てい談】周恩来の死と今後の中国（加藤栄治，丸山昇，上原一慶）

社会主義憲法における表現の自由規定をめぐって（上）（藤田勇）

社会主義的分配の基本的諸原則：いわゆる「ブルジョア的権利」に関連して
（副島種典）

人民日報からみた中国：教育革命の展開をみる（松永義衛）

資料 中国在外大使一覧表

71号（1976年4月）

“走資派”批判キャンペーンの現段階（三島朋之）

中国の工業労働組織の諸問題（上）（中村義人）

紹介：シャルル・ベトレーム著『中国における文化革命と工業組織—
管理と分業の変革』（井出啓二）

「平和と民主主義の新段階」はどこへ行ったか(下)（姫田光義）

人民日報からみた中国：尖鋭化するキャンペーン（松永義衛）

資料 中華人民共和国異旧行政区革命委员会主任・副主任一覧表

72号（1976年5月）

中国の「米帝下り坂」論へのアメリカの回答：米中関係の現局面（川
本謙一）

内側からみた中国社会と民衆（座談会）（編集部）

ドキュメント「天安門事件」：北京四月五日（藤井五郎）

毛沢東思想の形成過程（尾崎庄太郎）

人民日報からみた中国：走資派批判と生産の問題（松永義衛）

73号（1976年6,7月）

【てい談】天安門事件の実像を追って（加藤栄治，米沢英夫，高原七朗）

清明節，私は天安門へ行った（野坂洋子）

人民日報からみた中国（76.3.21-4.20）：天安門事件への底流（松永義衛）

走資派批判・天安門事件関連資料

鄧小平語録

アメリカのあらたな対中アプローチ（倉淵隆三）

74号（1976年8月）

人民日報からみた中国（76.4.21-5-26）：天安門事件後の政治状況（松
永義衛）

75号（1976年9月）

人民日報からみた中国（76.5-27-7.20）：鄧小平批判の展開を追って
（松永義衛）

76号（1976年10,11月）

【座談会】毛沢東なき中国（姫田光義，松田昭次，浅野雄三）

【資料】毛主席死去についての訃告

新段階に入った中国をめぐるいくつかの問題について（山口正之）

毛沢東の遺産を背負う今後の中国（加藤栄治）

人民日報からみた中国（76.7.21-8.10）：唐山大地震と人民解放軍（松永義衛）

【随想】毛・周体制について（加地亘）

77号（1976年12月）

文化大革命の終章（松永義衛）

フランス人がみた「クーデター未遂事件」（ルネ・リカルド）

大国主義干渉をふりかえって（和田一夫）

78号（1977年1月）

林彪，毛沢東を評す（上）（福島洋子解説，尾崎庄太郎訳）

「四人組」失脚への道（松永義衛）

79号（1977年2月）

四人組失脚後の中国（座談会）（加藤栄治，丸山昇，米沢秀夫）

林彪，毛沢東を評す（下）（福島洋子解説，尾崎庄太郎訳）

80号（1977年3,4月）

「四人組」追放後の百日（松永義衛）

文革前の「十大関係論」と華国鋒路線（米沢秀夫）

81号（1977年5月）

天安門事件一周年を迎える中国（中嶋嶺雄）

中国外交の転換と毛沢東（渡辺俊彦）

82号（1977年6月）

文革批判をめぐる二つの潮流（松永義衛）

今日のシンガポールと中国・ユーロコミュニズム（小山田太郎）

米中正常化と台湾問題（萩原耕吉）

83号（1977年7月）

毛沢東主義の行方（小杉修二）

毛沢東選集第五巻を読んで（尾崎庄太郎）

84号（1977年8月）

中国の転換の当面の到達点（山口正之）

毛沢東選集第五巻を読んで（補遺）（尾崎庄太郎）

85 号（1977 年 9 月）

毛沢東の過渡期階級闘争論批判（三）（高橋勇治）

鄧小平再復活の舞台（松永義衛）

全党全国各項工作の総綱を論ず（訳：尾崎庄太郎）

86 号（1977 年 10,11 月）

【対談】第十一回大会を読む（松永義衛，上原一慶）

中国共産党第十一回全国代表大会関連資料

中国政治の虚像と実像（そのⅠ）：『毛沢東選集』第五巻の検討（石川賢作）

87 号（1977 年 12 月）

中国経済の近代化と賃上げ問題（米沢秀夫）

88 号（1978 年 1 月）

中国政治の虚像と実像（そのⅡ）：『毛沢東選集』第五巻の検討（石川賢作）

89 号（1978 年 2 月）

【対談】「四人組」批判の現段階とその特徴（加藤栄治，丸山昇）

90 号（1978 年 3 月）

アジアの覇権をめぐる日中米の選択（山口正之）

91 号（1978 年 4,5 月）

第五期全国人民代表大会（座談会）（稲子恒夫，田口富久治，林高之，井手啓二，桜井明治）

中国の新憲法（稲子恒夫）

第五期人民代表大会の周辺（加藤栄治）

なぜ華国鋒政権は「三つの世界論」を必要とするのか：華政権の現状分析（渡辺俊彦）

中国政治の現段階；毛沢東主義の動揺（小杉修二）

「風派」「溜派」「震派」批判：『人民日報』の論調（松永義衛）

第五期全国人民代表大会の人事について（松本昭子）

【資料】 人民代表大会関連資料

第五期全人代での憲法修正に対する意見（『七十年代』2月号掲載論文）（朱養民 [高橋博訳]）

92号（1978年6月）

78年中国憲法をめぐる（上）：民主主義と適法性（藤田勇）

尖閣列島事件と日中関係（森田勝巳）

ベトナムからみたカンボジアと中国（金子徳好）

【資料】 尖閣列島に関する中華人民共和国の声明（1971年12月30日）

【資料】 尖閣列島に関する声明（国民党革命委員会部分委員，1978年4月10日）

93号（1978年7月）

中国新憲法考（高橋勇治）

日中平和友好条約と友好関係の原則（家正治）

第五期全人代と日・中・米の軍事関係（林高之）

94号（1978年8月）

中国経済10ヵ年計画の問題点（米沢秀夫）

78年中国憲法をめぐる（下）：民主主義と適法性（藤田勇）

「四つの現代化」にみる中国の政治（渡辺俊彦）

ベトナム・カンボジア紛争を読む（桜井明治）

95号（1978年9月）

今日の中国・ベトナム紛争について（古田元夫）

資料：中国側の報道，ベトナム側の報道（中国・ベトナム紛争）

林彪・四人組批判の方法を問う（尾崎庄太郎）

96号（1978年10月）

【対談】 中国をみつめて：日中平和友好条約を読む（柴田穂，戸張東夫）

民主的なアジア・太平洋新秩序のための試論的検討：日中条約の締結を中心に（山口正之）

日中平和友好条約の検討（家正治）

日中平和友好条約関連資料

97号(1978年11月)

毛沢東批判は広がり深まる(戸張東夫)

【資料】「毛沢東は誤りを犯さない」という神話を打ち破ろう(斉辛)

中国・ベトナム紛争と東南アジア華僑(林高之)

アフリカにおける中国の影(S・W・ロヒオ, 成田良雄[インタビュー])

日中条約締結後の課題(和田一夫)

98号(1978年12月)

スターリンの中国政策とその思想構造(渡辺俊彦)

米中接近は「脱文革の一步」か「反ソ主義の補強の一步」か: 山口正之氏の中国論の問題点と根源(小林修二)

中国の宇宙開発の現状と将来について(小林幹夫[解説])

【特別訪問記】香港誌『七十年代』掲載: 周揚, 歴史の功罪を語る(高橋博[訳])

99号(1979年1月)

中国共産党の新たな権力闘争(斉辛[香港誌『七十年代』掲載])

【特別訪問記】香港誌『七十年代』掲載: 周揚, 歴史の功罪を語る(下)(高橋博[訳])

100号(1979年2,3月)

【座談会】米中外交・毛沢東批判 中国はどこへゆくのか(柴田穂, 中嶋嶺雄, 戸張東夫)

資料・壁新聞 民主が独裁を裁く／毛主席の晩年の誤り／思想を解放し, 真理をときあかそう ほか

壁新聞への過程: 『人民日報』などの論点からみて(松永義衛)

彭徳懐・その人といわゆる「彭徳懐事件」について(姫田光義)

「中国人として育った私」を書いて 「紅衛兵だった私」を読む(西条正)

現代学生の中国認識を探る: アンケート調査を下に(お茶の水女子大学中国研究会)

社会主義諸国にたいする中国の姿勢と諸国の対応（副島種典）
中国の近代化と日本の資本（山口正之）

101 号（1979 年 4,5 月）

【対談】中国・侵略する側の論理（戸張東夫，古田元夫）

【資料】ベトナム政府声明・中国政府声明

中越紛争と『人民日報』報道（松永義衛）

中国のベトナム侵略：その対外政策のいきつくところ（山口正之）

知識人の復権—「文化大革命」終結後の中国文学（高橋俊男）

毛沢東批判の限界点（尾崎庄太郎）

教育革命はどこへゆくか（松本昭子）

彭徳懷・その人といわゆる「彭徳懷事件」について（中）（姫田光義）

102 号（1979 年 6 月）

【対談】「北京の春」はすぎて：三中全会から中ソ条約廃棄まで（戸張東夫，上原一慶）

「文化大革命」と「文芸講話」（伊藤敬一）

趙樹理の死（小林二男）

現代中国に残る伝統政治の発想（橋本堯）

103 号（1979 年 7 月）

【インタビュー】ベトナム・カンボジア現地報告（中村悟郎〔聞き手：北畠霞〕）

陳若曦の長編小説《帰》とプロレタリア文化大革命（高橋俊男）

物価にみる中国の庶民生活（柚岡一禎）

104 号（1979 年 8,9 月）

毛沢東の旗と民主，法制（稲子恒夫）

三中全会から中越戦争への過程：『人民日報』の論調（松永義衛）

第五期全人代第二回会議の人事（松本昭子）

【資料】国務院（内閣）各省の機構と閣僚

105 号（1979 年 10 月）

中国の法と新しい法律（稲子恒夫）

「中華人民共和国刑法」についての覚書（上田寛）

中国内外日誌（1979年4月）

106号（1979年11月）

米中果てしなきパートナーシップ：『人民日報』の論調（松永義衛）

中国の印象：生活向上への国民的息吹と経済政策（渡辺基）

カンボジアの解放と新生：光明と前途の困難（副島種典）

中国内外日誌（1979年5月～7月）

107号（1979年12月）

「李一哲の大字報」続編：プロレタリア階級の階級独裁のために（王希哲）

中国の海底油田開発をめぐる動き（谷原順夫）

我が党の「八回大会」の偉大な歴史的意義についての試論（黎洪〔福地桂子訳〕）

資料・中国の治安立法 中華人民共和国治安管理处罰条例・労働教育問題にかんする国務院決定（稲子恒夫〔解説〕）

何を期待するか、中国：最近の米、日、中関係（和田一夫）

108号（1980年1月）

【座談会】中国にとって民主化は可能化か 資料／魏京生裁判の経過・人権問題について（芝田進午，斎藤道彦，丸山昇）

80年代中国の出発点（山口正之）

思想面から見た脱「文革」の最大の障害物（尾崎庄太郎）

【連載】「暗黒の十年」前後（小野沢亘）

109号（1980年2月）

中国覇権主義と民主化抑圧（松永義衛）

現代中国認識の立場と方法およびあり方について；中国社会主義30年の到達点（斎藤道彦）

大平訪中：「世界のなかの日中関係」（山口正之）

中国における軽工業について—「大躍進」期前後の軽工業の若干の諸問題（塚本隆敏）

中国経済の発展の道はけわしい（米沢秀夫）

【連載】「暗黒の十年」前後（小野沢亘）

110号（1980年3月）

【インタビュー】アフガニスタン、その危機を探る：アフガニスタンに
潜む中国の黒い策謀（山崎聡）

一青年のみた中国（下村武彦）

わたしのなかの中国（回想私記）（徳永淳子）

111号（1980年4月）

【インタビュー】日中合弁にみる中国の選択（沼田朗）

【資料】中華人民共和国中外合資経営企業法

激動する世界と模索する中国（山口正之）

「蜜月時代」から「米中安保協力」へ：危険なブラウン訪中（渡辺襄）

【連載】「暗黒の十年」前後（小野沢亘）

112号（1980年5月）

劉少奇名誉回復・文革逆転判決への道：五中全会と民主化を読む（松
永義衛）

文革派の後退と鄧派の進出：五中全会の人事をみる（松本昭子）

五中全会の後にくるもの（山口正之）

【連載】わたしのなかの中国（回想私記）（徳永淳子）

中国共産党第十一期中央委員会第五回総会関連資料

中国周辺整理メモ（抄）

中国関係書出版目録（1980年1月～2月）

【資料】少数民族の人口と分布地域

113号（1980年6月）

毛沢東批判の限界点（高橋勇治）

魏京生事件と民主化運動の抑圧（尾崎庄太郎）

【連載】「暗黒の十年」前後（小野沢亘）

中国人民解放軍の戦略転換（渡辺俊彦）

114号（1980年7月）

激動のなかでの「冷静実務」会談：華国鋒の来日（山口正之）
【資料】日中共同新聞発表（全文）・華国鋒首相記者会見（要旨）
民主化運動の抑圧と今後の民主化闘争の課題（尾崎庄太郎）
「四つの現代化」と政治・哲学論争（そのⅠ）（石川賢作）
マルクス主義の中国化（稲子恒夫）
【連載】「暗黒の十年」前後（小野沢亘）

115号（1980年8月）

民主主義の方向（王希哲〔訳・鳴海三郎〕）
中国の法学者の関心事（稲子恒夫）

116号（1980年9月）

社会主義と日中友好運動を語る（柳田謙十郎，重沢俊郎）
毛沢東批判はどこまで可能か：五人代への道（松永義衛）
「四つの現代化」と政治・哲学論争（そのⅡ）（石川賢作）
【連載】わたしのなかの中国（回想私記）（徳永淳子）

117号（1980年10,11月）

【対談】何をなそうとするのか中国（中嶋嶺雄，戸張東夫）
全人代第三回会議にみる中国経済の“視角”（松田正次）
中国の憲法改正と新婚姻法（稲子恒夫）
文革派一掃の第二段階：全人代の人事にみる（松本昭子）
文革，毛沢東批判の現状（松永義衛）
中国の経済改革（米沢秀夫）
アジア的生産様式，アジア的専制主義ならびにアジアのプロ独裁（尾崎庄太郎）
第五期全国人民代表大会第三回会議関連資料

118号（1980年12月）

現代の学生と中国認識（座談会）（広瀬昇，新孝一，永井昭夫，豊田恭子，駒宮幸枝）
学生の中国意識アンケート調査（早稲田大学中国研究会）
アメリカの中国研究への一視点：ベンジャミン・シュウオルツの中国

論(渡辺俊彦)

中国の新婚姻法・再論 (稲子恒夫)

【連載】「暗黒の十年」前後 (小野沢亘)

【資料】中華人民共和国婚姻法・中華人民共和国国籍法・中華人民共和国中外合資経営企業所得税法

119号 (1981年1月)

レーガン圧勝と米・日・中関係 (山口正之)

中国民主運動と鄧・趙体制 (渡辺一衛)

【インタビュー】山本薩夫, 訪中を語る (山本薩夫)

「四つの近代化」と教育 (松本昭子)

【連載】わたしのなかの中国 (回想私記) (徳永淳子)

【資料】各国の党の自主独立の原則

120号 (1981年2月)

裁かれるのは誰か? : 「林彪・四人組反革命集団」裁判への所感 (姫田光義)

林彪, 江青集団裁判特別検察庁の起訴状

林彪反革命クーデター破綻記

121号 (1981年3月)

【インタビュー】鄧小平の陰謀 (加藤栄治)

中国の経済改革は中国経済を軌道にのせられるか (塚本隆敏)

【資料】林彪・江青反革命集団事件判決書, 正義の判決 : 『人民日報』社説, 林彪・江青反革命集団事件従犯六十人

122号 (1981年4月)

大型プラントの契約破棄と中国経済の背景 : 経済再調整の波紋 (松田正次)

中国海底油田調査・開発計画をめぐって (谷原順夫)

「林彪・江青集団」裁判の感想 (松永義衛)

中国民主化運動の底流と逆流 (渡辺俊彦)

中国経済界の現状の一断面 : 薛暮橋『中国社会主义經濟問題研究』を読

んで（副島種典）

【資料】中華人民共和国外貨管理暫定条例

123 号（1981 年 5 月）

現存社会主義をどうとらえるか（井出啓二）

毛沢東と文化大革命（上）（王希哲〔訳・渡辺俊彦〕）

【連載】「暗黒の十年」前後（小野沢亘）

124 号（1981 年 6 月）

毛沢東選集の翻訳・出版をめぐる二、三の思い出（尾崎庄太郎）

毛沢東と文化大革命（下）（王希哲〔訳・渡辺俊彦〕）

【連載】わたしのなかの中国（回想私記）（徳永淳子）

125 号（1981 年 7 月）

日米共同声明と中国の対外路線（山口正之）

中国の現状と将来：民主と法制を中心に（姫田光義）

中国の再生と毛沢東主義（上）（田中祥之）

日本共産党に対する人民日報の表記について

中国農業政策の「歴史的転換」：大寨型から各戸請負制の容認まで（渡辺基）

中国引揚者の内側（上条厚）

126 号（1981 年 8 月）

中国の国家目的と今日の中国論：「理念モデル」論的中国社会主義批判
（小杉修二）

中国の再生と毛沢東主義（下）（田中祥之）

教科書の記述にみられる十五年戦争（徳武敏夫）

【連載】わたしのなかの中国（回想私記）（徳永淳子）

127 号（1981 年 9 月）

【対談】「歴史決議」をどう評価するか（上原一慶，斎藤道彦）

「六中全会」と中国の動向：「歴史決議」を読む（松永義衛）

鄧・胡体制の成立か：六中全会の人事をみる（松本昭子）

【資料】建国いろいろの党の若干の歴史的問題についての決議（全文）・（上）

128 号 (1981 年 10 月)

毛沢東信仰崩壊の意味 (田中祥之)

「歴史決議」で深められなかった問題と最近の学術論争の二、三 (尾崎 庄太郎)

【連載】わたしのなかの中国 (回想私記) (徳永淳子)

【資料】建国いろいろの党の若干の歴史的問題についての決議 (全文)・
(下)

129 号 (1981 年 11 月)

中国の国家目的と経済建設 (上): 超大国志向の社会主義における経済
と政治 (小林修二)

130 号 (1981 年 12 月)

中国の国際関係と「歴史決議」 (石川賢作)

土地と生産手段の国有化について: 中国社会主義の再検討 (溝口貞彦)

中国の国家目的と経済建設 (下): 超大国志向の社会主義における経済
と政治 (小林修二)

131 号 (1982 年 1 月)

世界史の現段階と社会主義国との友好運動 (藤田勇)

【座談会】友好運動に未来はあるか (柴田政利, 小林克己, 和田一夫)

中国雑感: 変わる中国と変わらない中国: 僕を追放した国に愛を込め
て (横山宏章)

【連載】わたしのなかの中国 (回想私記) (徳永淳子)

時評: 中国, 経済政策で対立 (松永義衛)

132 号 (1982 年 2 月)

絶望的回想と観察 (劉青)

人民主権と民主主義 (柳春生)

忘れられた下放青年: 中国社会主義の現実 (渡辺俊彦)

劉賓雁と中国社会主義: 四川省に取材した作品を中心に (太田秀夫)

【連載】わたしのなかの中国 (回想私記) (徳永淳子)

時評: 中国, 新経済構想を模索: 開放政策の“聖域” 広がる (松田正次)

133 号 (1982 年 3 月)

米中対立するか (戸張東夫)

文革理論の哲学的源流についての二、三のメモ (尾崎庄太郎)

【連載】わたしのなかの中国 (回想私記) (徳永淳子)

時評：米中間にあつれき (松永義衛)

134 号 (1982 年 4 月)

米中野合とアメリカのディレンマ：レーガン政権下の米中関係 (川本謙一)

劉賓雁と中国社会主義 (続)：百花斉放期の二つの作品と「人妖之間」 (太田秀夫)

中国農業の一断面：蚕産業からのアプローチ (吉武成美, 佐藤忠一)

時評：模索する中国の内外政策 (松永義衛)

135 号 (1982 年 5 月)

「苦恋」事件始末 (高島俊男)

「文芸講話」批判問題・覚書—胡喬木による“批判”をめぐる (宇野木洋)

【連載】わたしのなかの中国 (回想私記) (徳永淳子)

時評：汚職・機構改革をめぐる (松永義衛)

136 号 (1982 年 6 月)

激論、中国式「行政改革」を斬る (戸張東夫, 橋本広文)

社会主義世界体制の発展と問題点 (三野昭一)

日中国交回復十周年：日中復交十周年と八十年代の展望 (山口正之)

対台湾武器売却決定 (石川賢作)

137 号 (1982 年 7 月)

中国の新憲法草案 (稲子恒夫)

中国の改正憲法草案への雑感 (松永義衛)

18 年目の中国—老舍研究の旅あれこれ (1) (伊藤敬一)

中国の経済計画と市場問題 (米沢秀夫)

【連載】わたしのなかの中国 (回想私記) (徳永淳子)

時評：米中・中ソ危険な図式（石川賢作）

【資料】中国新人事，中華人民共和国憲法改正草案

138号（1982年8月）

劉賓雁と中国社会主義（完）：社会主義ヒューマニズム論を中心に（太田秀夫）

18年目の中国，老舎研究の旅あれこれ（2）（伊藤敬一）

時評：趙紫陽首相来日をめぐって（石川賢作）

戦後37年，中国残留者問題（工藤静子）

139号（1982年9月）

【連載】わたしのなかの中国（回想私記）（徳永淳子）

18年目の中国：老舎研究の旅あれこれ（3）（伊藤敬一）

時評：問われる中国の外交姿勢（松永義衛）

140号（1982年10,11月）

【対談】問題は「侵略」か（高橋碩一，戸張東夫）

戦後教育政策の展開と今日の教科書問題（大谷正）

中国でみた教科書問題（溝口貞彦）

高校生は「侵略と」と「進出」をどうみたか（吉村徳蔵）

18年目の中国：老舎研究の旅あれこれ（伊藤敬一）

アンケート：戦争を考える

中国の教科書批判とその結果（松本昭子）

【資料】中国に進出する日本企業

中国は訴える

1981年度検定の具体例 高校日本史・世界史

141号（1982年12月）

【インタビュー】台湾は何处へ（戸張東夫）

魯迅の孫・周令飛の体験：わが三十年を語る（周令飛〔訳・花岡久〕）

中国共産党第十二回大会と国際関係（石川賢作）

鈴木訪中と日中復交十周年（荻原耕吉）

中国における農業研究の動向と生産性について：桑栽培の立場から

(小野松治)

時評：「文革」色・「文革」派の一掃か（松本昭子）